



諦めずに行動しよう

私たちの大切な祖国である日本は、今、様々な問題を抱え、重大な危機に直面しています。

食料の確保と品質の安全性、外交/安全、疫病、収入の減少など、数え上げればキリがありません。

このままでは平穏な暮らしが続けられなくなるような深刻な状態ですが、そのような将来を迎えないためにも、私たち自身

が真剣に考えて行動しなければなりません。「どうせ変わらない」と諦めていては、ますます悪くなるばかりです。

私たちの先輩方が大切に育ててくださった日本を、良い形で次の世代へ繋ぐために、自分たちにできることをやっていたいですね。

私たちの先祖が育ててきた日本を次世代に繋ぎましょう。

ぜひ、ご自身で調べてみてください。

III 過去30年間、日本は賃金が上がっていません

日本は、GDPで見ると世界第3位の経済大国です。しかし「平均年収」を他の先進国と比較してみると、決して高くありません。

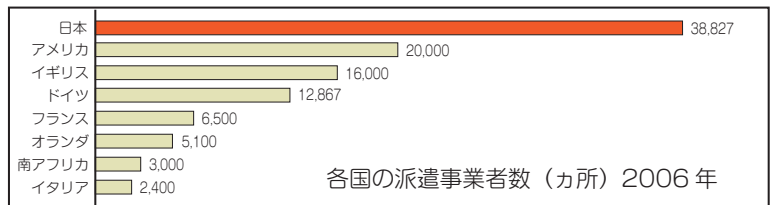
戦後の日本は、勤勉さと高い技術力で素晴らしい製品を作り出すなど大きな発展を遂げ、私たちは先人の方々のおかげで大きな恩恵を受け、豊かな暮らしを享受してきました。

いわゆる「バブル」崩壊時、日本とアメリカの平均収入は、ほぼ同じでした。ところが現在、日本は様々な要因により競争力を削がれて平均収入はその当時より下がっており、着実に伸びているアメリカの約1/2に落ち込んでいます。

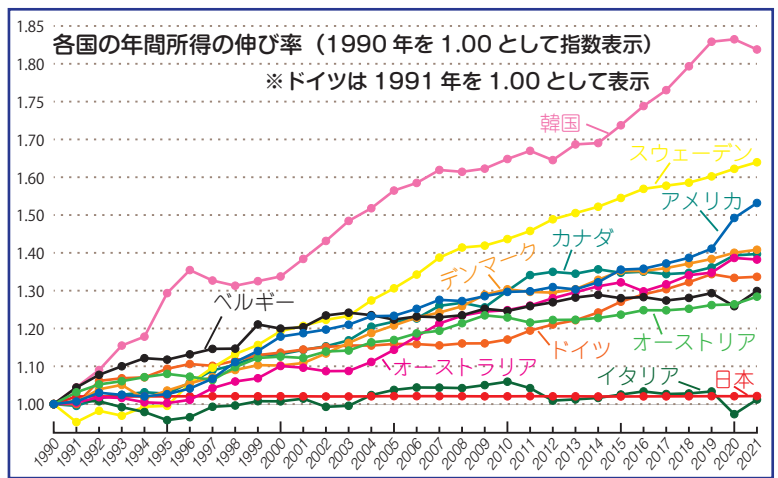
平均所得が下がり続けている要因のひとつに「派遣雇用制度」が挙げられます。派遣雇用は「いつ契約が終了するかわからない」「昇給する機会がほぼない」など労働者には不利な条件が重なり、実際に賃金も低く抑えられているため、消費の低迷を招き経済が衰退し続けています。

日本は他国に比べ派遣会社がとても多く、経済的な歪を生んでいると言えます。

このような制度は早急に見直す必要があります。



独立行政法人労働政策研究・研修機構



OECD 主要統計より

各国の平均年間所得 (2021年米ドル換算)

